

登録コード	L2533000	開講年度	2026				
担当教員	田所 朱莉		副担当				
授業科目	英語文学特論						
英文授業名	Literature in English						
授業タイトル	「読んで」「演じる」アメリカ演劇—テネシー・ウィリアムズ研究						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限
講義室	人文311実習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加わす対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			アメリカ演劇の精読、実演を通して、他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーを身につける。			
	【2022年度以前加わす対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			アメリカ演劇の精読、実演を通して、グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力を身につける。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加わす対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			アメリカ演劇の精読、実演を通して、人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力（思索力・受容力・批判力）を身につける。			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業では、アメリカを代表する劇作家Tennessee Williams（1911-1983）による戯曲、『ガラスの動物園』（The Glass Menagerie, 1945）の精読を行います。本作は、姉と母とWilliams自身を描いた「追憶の劇」と呼ばれており、Williamsをスターダムにのし上げた名作で、1987年に映画化されました。演劇スク립トの読解、場面の実演、ディスカッション、レポートの執筆を通して、高度な英語運用能力の習得を目指します。また、表層的な意味の読解のみならず、作品が持つ問題意識や劇的技巧にも着目して読み進めます。それにより、多角的に思考する力を身につけ、アメリカ文化・社会を映すメディアとしての演劇の可能性を考察していくことも目的とします。 なお、The Glass Menagerieを「読む」行為に加え、劇作品は基本的に「演じるもの」、「演出するもの」という立場に立ち、授業を進めていきます。各回の授業では、台詞の読み合わせ・実演をしていただきますが、これは演技力の向上を目的としたものではなく、さらなる作品理解／分析を目的としたものですので、演技に自信がなくとも、何ら問題ありません。学生による積極的な授業参加が求められます。						
授業計画	第1回：授業オリエンテーション(Tennessee Williams概説) 第2回：Scene 1(作品の精読、台詞を言うこと・読み合わせ) 第3回：Scene 2(作品の精読、台詞を言うこと・読み合わせ) 第4回：Scene 3(作品の精読、台詞を言うこと・読み合わせ) 第5回：Scene 4(作品の精読、演じること) 第6回：Scene 5(作品の精読、演じること) 第7回：Review and Discussion 第8回：Scene 6 前半(作品の精読、演じること) 第9回：Scene 6 後半(作品の精読、演出すること) 第10回：Scene 7 (作品の精読、演出すること) 第11回：Scene 7 (作品の精読、演出すること) 第12回：Scene 7 (作品の精読、演出すること) 第13回：演技プレゼンテーション準備 第14回：演技プレゼンテーション 第15回：全体のまとめ、授業アンケート 授業進度などは、変更することがあります。詳細は第1回目の授業で説明するので、必ず出席してください。						
成績評価の方法	積極的授業参加度（ディスカッションへの貢献度）10%、演技プレゼンテーション20%、授業内発表30%、期末レポート(第15回目授業終了後、指定した期日までに提出) 40%によって総合的に評価します。						
成績評価の基準	積極的授業参加度と授業内発表については、 Tennessee Williamsに関する基礎知識を身につけたか、要約およびレジュメ作成が的確か、 発表における分析・考察、文献読解が正確か、 授業内で積極的に議論をリードできたか、の4項目について、評価を行います。 演技プレゼンテーションについては、 作品の特徴を的確に説明できたか、 登場人物の心情や状況を的確に理解できたか、の2点について、評価を行います。 期末レポートについては、 要項どおりにレポートを作成しているか、 テーマ設定が明確か、 レポートの構成が体系立てられているか、 論理的かつ説得的に議論を構築できているか、 オリジナリティがあるか、の5項目について、評価を行います。 以上の項目について評価を行い、卓越した基礎知識を持ち、分析ができれば90点以上、優れていれば80点以上、ややすぐれていれば79～70点、標準的なら69～60点の評価になります。						
事前事後学習の内容	授業計画にあわせて、毎週予習復習をこまめにおこなってください。						

事前事後学習の内容	授業前には、その週に取り扱う範囲を熟読、ディスカッションができるように準備をしてきてください。また、教員からの指示があれば、台詞も覚えてきてください。授業は、作品の該当箇所を読んでいる前提で進めます。予習なしでの授業参加は認めません。 また、発表担当者は、レジュメ等発表資料（簡単なあらすじ説明とディスカッションポイントの提示）を準備してきてください。 授業後には、講義内容、および自らの考察を適宜まとめるなどして、作品への理解を深めてください。
履修上の注意	履修希望者は、必ず初回の授業に出席してください。また、英米言語文化コース所属の田所研究室志望学生、および（本授業を履修したことがない）所属学生は必ず履修するようにしてください。もちろん、それ以外の方の履修も大歓迎です。 「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」により、欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が5回を超えると、授業の達成目標に到達することができないため、単位が認定されません。 「学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とする」（信州大学における授業の出席に関する要項）ので、やむをえない事情がない限り、すべての授業に出席してください。「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」による欠席については、規定の申出書による申し出があれば、学修の補充を行います。また、30分を超える遅刻は欠席としてあつかい、遅刻3回で欠席一回分としてみなします。 一部、オンデマンド/Zoomを用いたオンライン授業で実施する場合があります。
質問、相談への対応	授業後もしくはオフィスアワーに対応します。直接研究室を訪問せず、事前にメールで連絡してください。実際の対応は研究室以外（電子メールでやZoom等を用いたオンライン等）で行うことがあります。メールアドレスは人文学部履修案内に掲載されています。また、初回授業でもお知らせします。
教科書	Tennessee Williams著 The Glass Menagerie （英宝社）ISBN: 978-4-269-09015-6
参考書	・テネシー ウィリアムズ（著）、小田島 雄志（翻訳）『ガラスの動物園』（新潮文庫） ・Adler, Thomas P. American Drama, 1940-1960: A Critical History. Twayne, 1994. ・Bauer-Briski, Senata K. The Role of Sexuality in the Major Plays of Tennessee Williams. Peter Lang, 2002 . ・Clum, John M. Still Acting Gay: Male Homosexuality in Modern Drama. St. Palgrave Macmillan, 2000. ・Delvin, Albert J. (editors) Conversations With Tennessee Williams. UP of Mississippi, 1986. ・Gross, Robert. Tennessee Williams: A Casebook. Routledge, 2002. ・Griffin, Alice. Understanding Tennessee Williams. University of South Carolina Press, 1995. ・Murphy, Brenda. Tennessee Williams and Elia Kazan: A Collaboration in the Theatre. Cambridge University Press, 1992. ・Prosser, William. The Late Plays of Tennessee Williams. The Scarecrow Press, 2009. ・Roudane, Matthew C, editor. The Cambridge Companion to Tennessee Williams. Cambridge UP, 1997. ・Thompson, Jidith J. Tennessee Williams' Plays: Memory, Myth, and Symbol. Peter Lang, 2002. ・Tischler M. Nancy. Student Companion to Tennessee Williams. Greenwood P, 2000. ・Williams, Tennessee. Tennessee Williams, Where I Live: Selected Essays. Ed. Christine R. Day, New Directions, 1978. ・Williams, Tennessee. Tennessee Williams: Plays 1937-1955. The Library of America, 2000. ・Williams, Tennessee. Tennessee Williams: Plays 1957-1980. The Library of America, 2000. ・Williams, Tennessee and John Waters. Memoirs. New Directions. 2006. その他は授業中に適宜紹介します。また、参考書は授業内で使用しない場合があります。